

平成24年度  
実施事業

事務事業名 こどもショートステイ事業

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	1	安心して子どもを生み育てられるまちをつくる
施策	1	子育ての不安と負担の軽減
小分類	4	経済的負担の軽減の支援
主要な施策	1	①医療費、保育料、教育費等の支援
事務事業番号	002	事業開始年度 平成 14 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部名 保健福祉部      グループ名 子育てグループ

事務事業の概要 《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	一時的に養育が困難となった保護者に代わって子どもを養育することにより、子どもの健全育成を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	保護者の疾病等の特別な事情により家庭での養育が一時的に困難となった児童を、児童養護施設で養育する。 ▼委託先：社会福祉法人 室蘭言泉学園
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	緊急時の子ども等の受け入れ態勢を保護者や施設と連携を図っていく。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	児童福祉法、登別市こどもショートステイ事業実施要綱

事業費（財源内訳）の推移 《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称 子育て支援交付金	千円	0	0	100	100	100
道支出金	名称	千円					
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円	0	0	64	64	64
事業費 合計			0	0	164	164	164

指標の推移 《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 措置人数	人	目標値	3	3	3	3	3
			実績値	0	0			
	②		目標値					
			実績値					

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
<p>登別市において児童養護施設が無く近隣の室蘭市にある施設に委託する状況となっている。</p>	<p>子育て支援の一貫として、いつでも利用が可能となるよう委託を継続した。</p>	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
<p>市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？</p>	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>市町村が実施する子育て支援事業の一つで、子育て支援交付金の対象事業である。</p>
	<input type="radio"/>	② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="radio"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="radio"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
<p>市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？</p>	<input type="radio"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>子育て支援事業の中で重要な役割を果たすため必要性の高い事業と考える。</p>
	<input type="radio"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
<p>事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？</p>	<input type="radio"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>本事業は、委託契約に基づくもので削減は難しい。</p>
	<input type="radio"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="radio"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
<p>目的を達成するための成果はあがっていますか？</p>	<input type="radio"/>	① 成果指標の向上が見られる	<p>判断理由及びその他所見</p> <p>成果を求める性質の事業ではないと考える。</p>
	<input type="radio"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="radio"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="radio"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《Check》

<b>維持</b>	<p>左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)</p>	<p>市町村が実施する子育て支援事業で、平成24年度において利用者はいないが、児童の養育が一時的に困難になった際の支援策として、維持すべきと考える。</p>
-----------	-----------------------------	--

②行政評価会議による評価 《Check》

<b>維持</b>	備考	
-----------	----	--

③総合的な評価（当該事務事業の方向性） 《Action》

<b>維持</b>	備考	
-----------	----	--

[評価区分]

- ◆拡大（事務事業の目的を達成するために事業の規模や経費の大幅な変更が必要な事業）
- ◆維持（事業内容の根幹にかかわる部分については変更せず、不断の点検・検証による効率的な経費の活用や軽微な見直しを行い、継続的に実施する事業又は、事業計画等で予め年次的に実施する事業内容等を定めており、実施年度によって経費や実施箇所等に変更が生じる事業）
- ◆改善（当該事業の目的を達成するために、現状の手段や経費、事業の方向性等、事業の根幹に関わる部分について見直す事業）
- ◆休止（暫定的に休止する事業）
- ◆廃止（事業の開始当初から目指していた成果が得られたなど、目的が達成された事業）
- ◆終了（事業の開始当初から予定していた事業期間が終了した事業）